

様似郷土館だより

— 2024年 11月号 Vol. 8 —

編集・発行：様似郷土館

〒058-0024 北海道様似郡様似町会所町1番地／TEL 0146-36-3335／Mail samanikyoudokan@future.ocn.ne.jp

徐々に冬が近づいているようで、冷え込むようになってきました。昆虫採集へ行く回数もめっきり減ってしまいましたが、ヤマユガの仲間など秋時期に活動するガ類も多くいます。また、地中や倒木を狙えば、越冬中の昆虫や地下性の昆虫も狙えます。秋だからこそ狙える身の回りの虫を探してみましょう♪温度差の激しい季節の変わり目、皆さまも体調にお気をつけてください。

10月は広尾町から水生昆虫好きのお客様、釧路町からマルハナバチの研究者がご来館されました。郷土館にも少しずつではありますが、昆虫標本が集まっており、それを目当てにした来館者も増えてきた印象です。道内で本格的な昆虫の展示をしている博物館や昆虫専門の学芸員は数が限られているため、年々展示をパワーアップして見どころ満載の博物館を目指していきます。帯広からの寄贈標本でチョウ類コレクションは充実しておりますので、興味ある方はぜひお越しください♪(榎本尊)

成虫



幼虫:アリジゴク



カンカン講座 10月

【報告】

10月5日(土)にアポイ岳ジオパークビジターセンター周辺にて「ジオ散歩」が開催されました。見つけた木の実やキノコに対して水永学芸員からの解説があり、参加者は興味深く聞いていました。途中、アオダイショウの幼蛇を捕獲し、観察(撮影会)が行われ、カナヘビの幼体も複数見つかりました。ジオ散歩では身の回りの植物、キノコ、昆虫などの解説を聞きながら散策するイベントのため、季節ごとに違った発見があります。ぜひ次の機会にご参加ください！なお、散策中に見つけたアリジゴクを右でご紹介。



昆虫紹介

「ウスバカゲロウ(アリジゴク)」

家屋の屋根下の砂場にすり鉢状の狩場を発見したため、手で掬ってみた所、アリジゴクがいました。アリを食べる肉食の幼虫で、成虫になるとトンボに似た見た目のウスバカゲロウという昆虫になります。カゲロウとは別のグループで、成虫は夜間のライトにも良く飛来します。幼虫の発達した牙がかっこいい昆虫です！神社や古い家屋の軒下など、雨のあたらぬ砂地の日陰に巣を作ることが多く、多数の巣が狭い範囲で作られることが多い印象です。(上の写真参照)

2024年11月

日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3 文化の日	4 振替休日	5 休館日	6	7	8	9
10	11 休館日	12	13	14	15	16
17	18 休館日	19 休館日	20	21	22	23 祝日
24	25 休館日	26	27	28	29	30

カンカン講座 11月

【予告】

「ガラス彫刻&化石を詳しく見てみよう」

【日 時】 11月23日 10:00～11:30

【場 所】 様似町中央公民館 2階小ホール

【申 込】 商工観光課まで(0146-36-2120)

【期 限】 11月15日(金)まで

【参加料】 無料

【内 容】 ガラス製のグラスにルーターで絵や文字を描きます。化石の紹介もあるよ！！

10:00～16:30 開館 入館無料

展示解説、団体見学、郷土館資料の体験会等も実施しておりますので、希望者は様似郷土館へお問い合わせください。

海岸に漂着したウミガメについて

【調査報告】

【月 日】 10月4日(金)

【場 所】 日高耶馬溪

【参加者】 榎本 尊(様似郷土館)、産業課職員3名

【内 容】 アポイ岳ファンクラブの方が砂浜に漂着したウミガメを発見し、郷土館に連絡がありました。現地で確認したところ甲長が90cmほどのアカウミガメでした。漂着後2日が経過していたため、腐敗も進んでいたため埋葬しました。様似ではクジラやイルカが漂着することもあり、海岸漂着物にも目が離せません。



【参加報告】

アポイ岳再生事業

【月日】 10月10日(木)

【場所】 アポイ岳5合目

【講師】 静岡大学 増沢武弘氏

【内容】 再生実験地の高山植物周辺の除草作業とシカ柵の支柱の運搬を実施しました。



【活動報告】

新人研修会

【月日】 10月18日(金)

【場所】 様似郷土館

【人数】 11名

【内容】 様似町職員として今年採用された職員の町内研修会があり、郷土館内部を解説しました。事前の電話予約があれば、団体客への展示解説を実施するほか、事務室に声掛けいただければ解説や質問にお答えします。お気軽にお電話を♪

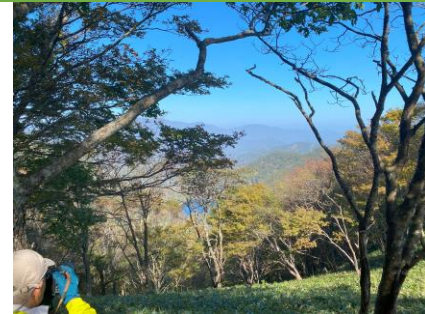
【参加報告】

猿留山道を歩く会・秋

【月日】 10月12日(土)

【場所】 えりも町郷土資料館

【内容】 えりも町で春・秋の年2回開催のイベントに参加してきました。様似山道と同じく、江戸時代に作られた猿留山道は山道沿いの景色も良く、沼見峠からは豊似湖が見れました。秋の山歩きはちょうどいい気候でいいリフレッシュになりました。参加者30名越えと国立公園化の影響か、大人数でのイベントでした。



【参加報告】

講演会「日高山脈襟裳十勝国立公園の魅力～アポイ岳の自然再生に向けて～」

【月日】 10月12日(土)

【場所】 町立様似図書館

【講師】 北海道大学 名誉教授 中村太士氏

【内容】 様似町の自然の魅力や自然再生についての事例紹介や見解について講演されました。



【活動報告】

ジオ学習・秋

【月日】 10月18日(金)

【場所】 アポイ岳山麓ファミリーキャンプ場

【内容】 幼児センターの児童と共に秋の昆虫観察会を実施しました。トンボ、アブ、バッタ、ヒメヤママユ等秋らしい昆虫がたくさんいました。

